

科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成27年度採択分）
 「日本疫学会誌Journal of Epidemiology世界トップクラス発信力獲得のための取組」
 （課題番号：15HP2014）

学術団体名：一般社団法人 日本疫学会
 学術刊行物の名称：Journal of Epidemiology
 事業期間：平成27年度～平成31年度

1 取組の概要

取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本疫学会誌Journal of Epidemiology（以下、JE）は、平成26年度までの国際情報発信力強化に取り組み、PubMed Centralへの公開、Creative Commonsライセンス導入、編集室強化によりインパクトファクタ（以下IF）2.862、5年IF 2.498（平成25年）の総合疫学雑誌として、アジアでトップであると共に世界トップテン（8位）に入った。

JEの国際情報発信力を更に高め、かつ恒常的なものとするため、特に編集委員会・編集室の国際化強化、出版倫理の国際標準化対策強化、ジャーナルのコンテンツの強化、宣伝活動の国際化、に焦点をおいた取組みを設定した。



応募時に設定した取組の目標・評価指標

- (1) ①外国人編集委員10名（応募時外国人編集委員5名）、外国人査読者を5年後に30%（応募時17%）
 ②専任編集スタッフの1名増員（応募時専任1名、補助1名）、③編集室の国際交流強化
- (2) ①出版倫理コンサルタント委託（応募時コンサルタント無し）
 ②COIルール設定（応募時未設定）
- (3) 企画論文の掲載促進
- (4) ポスター、チラシ、ノベルティを使った海外での宣伝活動の実施の実施
- (5) (1)～(4)の実施を通じてのIF、ウェブへのアクセス数、論文アクセス数、投稿数の増加、オープンアクセス誌としての認知度向上。

2 目標の達成状況

現在までの目標の達成状況

- (1) ①外国人編集委員を9名まで増員し、日本人編集委員を38名に、外国人査読の割合が24%となった（右表）。
 ②専任編集スタッフを1名増員し3名体制とした。③編集室・編集委員の編集関連国際会議出席、国際編集委員会を行った。

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
外国人編集委員の数	5	5	6	9
日本人編集委員の数	26	24	32	38
外国人への査読依頼割合 (%)	8	16	17	24
海外からの投稿論文数	160	172	235	152
国内からの投稿論文数	75	101	148	128
月あたりのダウンロード数	7,147	16,937	26,422	27,089
Impact Factor (2年値)	2.826	3.022	2.546	2.447
Impact Factor (5年値)	2.498	2.592	2.799	3.286

- (2) ①COPEの前議長であるLiz Wager氏をコンサルタントに迎え、相談を適宜行うようになった。
 ②COIルールを策定した。
- (3) 企画論文の発行を進めている。
- (4) 国際疫学会等国際学会においてノベルティによる宣伝活動を行った。
- (5) 平成28年のIFが2.447、5年IFは3.286で3を超え、世界トップ7位に入り、月あたりのダウンロード数も大幅に増加した（上表）。オープンアクセスへの取組みが認められDirectory of Open Access Journals (DOAJ)より認証を得た。国際的な研究者ID ORCIDを著者に必須とし、普及のためのセミナーを学会総会にて開催した。誌面体裁の全面改定を行った（右図）。



今後の計画

(1)～(5)に関して取組みを継続・充実すると共に、新たな事業として、ORCIDを介した査読者への査読履歴還元サービス、報告ガイドライン普及などに取り組む予定である。